

勝田杉山神社 横浜市都筑区勝田町 1231

創建年代等是不詳ながら、旧都筑郡域に多く祀られている杉山社の一つで、応永年間（1394-1427）の銘が入った鰐口があったといひます。明治6年村社に列格に、明治44年村内にあった日枝神社・神明社を合祀、大正15年神饌幣帛料供進神社となったといひます。江戸時代後期の天保9年（1838年）8月17日、社殿を造営、弘化3年（1847年）9月に鳥居を建立した。ご祭神は五十猛命・日本武尊（新編武蔵風土記稿より）。



こちらからも本殿にいける



道沿いに鳥居



遠くに拝殿が見える



境内社の稲荷社



由来の説明版



力石